

京丹後市立図書館

2024年度

おすすめの本

中学生

『みらいおにぎり』（文藝春秋）

桧山 タミ/著



「おいしくなあれ」は幸せをもたらす魔法のことば。九州で活躍する93歳の料理家タミ先生が、半生を振り返りながら、幸せになる生き方を語る。おいしいおにぎりの作り方も紹介する。小学校で行った授業を書籍化。

『焼き肉を食べる前に。絵本作家がお肉の職人たちを訪ねた』（解放出版社）

中川 洋典/聞き手・絵



殺すということだけにこだわってしまうから、そこで仕事をするすべての人が傷ついてしまうんだよ…。食肉業についている9人が、屠畜という仕事に対する思いや喜び、悩みを、絵本作家に向けて包み隠さず語ったインタビュー集。

『宇宙食になったサバ缶』（小学館）

小坂 康之/著 別司 芳子/著 早川 世詩男/挿絵



宇宙で食べたくなる味って？ JAXA認証宇宙日本食「サバ醤油味付け缶詰」をつくった高校生たちと支えてきた大人たちの14年を描いたノンフィクション。宇宙での食事や健康にまつわる、5つのコラムも収録する。

『マイブラザー』（ポプラ社）

草野 たき/著



わんわんと大声で泣いて、ひっくり返って、足をばたつかせて、誰かを思いっきり困らせてみたい。14歳だって、5歳児みたいに…。イクメン中学生の、悩める日々とめざめを描いた書き下ろし成長小説。

『キャプテンマークと銭湯と』(KADOKAWA)



佐藤 いつ子/作 佐藤 真紀子/絵

サッカークラブのキャプテンだった周斗は、U-14活動初日、コーチから、大地にキャプテンを替えると告げられる。不安と苛立ちの中、周斗は偶然、かつて祖父とよく来た懐かしい銭湯を訪れたことで、遅しく成長していき…。

『きみの存在を意識する』(ポプラ社)



梨屋 アリエ/作

ディスレクシアのグレーゾーンにいるひすい、女にも男にも分けられたくない理幹…。クラスメイトの困難とは？同じ中学校に通う2年生たちの姿を描く全5話を収録する。作品ごとに語り手が変わる連作の短編集。

『夏のカルテット』(PHP研究所)



眞島 めいり/著

中1の夏休み。図書委員の当番のために集まった、カノ、ミキ、ツカサ、ササヤ。クラスも部活もバラバラな4人が、音楽を通じてつながっていき…。気持ちが前向きになる、爽やかな青春ストーリー。

『ぼくたちはまだ出逢っていない』(ポプラ社)



八束 澄子/著

イギリス人と日本人のハーフでいじめに悩む陸。母親の再婚相手の家に岡山から越してきた美雨。「漆」に導かれてめぐりあったふたりの世界が、少しずつ変わっていき…。伝統技法「金継ぎ」に彩られた出逢いと修復の物語。

『逆ソクラテス』(集英社)



伊坂 幸太郎/著

学力も運動もそこそこの小学6年生の僕は、転校生の安斎から、ある作戦を持ちかけられる。それは、クラスメイトや担任の先生を巻き込んで、予想外の結末を迎え…。表題作をはじめ、全5編を収録。

『14歳、明日の時間割』(小学館)



鈴木 るりか/著

中学校を舞台に、時間割に見立てた7編の短編で、現代人の苦悩、笑い、絆、友情、想いを鮮やかに描写する。笑って笑って、ホロッと泣かせる、胸に迫る青春群像。中学生作家の小説第2弾。

無断での複写・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。

ほかにもあるよ おすすめの本

『もしものせかい』
ヨシタケ シンスケ/著
(赤ちゃん和妈妈社)

『ミライの授業』
瀧本 哲史/著
(講談社)

『空へ』
いとう みく/作
(小峰書店)



貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください